

【平成26年度】

## 畜産動産担保融資活用推進事業（新規）

### 1 事業の目的

畜産経営の安定や生産基盤強化を図るために必要とする資金について、安定的かつ円滑な調達を期するため、担保や保証人によらず、融資機関が事業収益資産の内容を常時モニタリングし、資産の一定割合を上限に資金の貸し出しを行うABL（動産担保融資）という手法の一層の活用方法等について、調査及びモデル実証を行うことにより、畜産経営における資金調達の多様化を図る。

### 2 事業の内容

#### （1）畜産ABL活用推進のための調査

ABL活用推進のための課題解決に向けて、有識者による先進事例の調査、マニュアル策定等への支援を行うとともに、畜産主産地におけるABL活用に係る畜産経営の認知度・意向調査等の取組への支援を行う。

#### （2）ABL推進体制のモデル実証

ABL活用の先進的地域や、その導入を図っている地域等において、地域でのABL推進体制のモデル実証の取組として、畜産経営と融資機関のマッチング、経営診断、経営モニタリング体制・貸倒時の家畜の飼養・処分体制構築等の取組への支援を行う。

3 事業実施主体 (公社) 中央畜産会

4 所要額（補助率） 46百万円（定額、1／2以内）